

**SGEC 分別・表示事業体審査報告書**  
**(更新審査)**

第二期

(概要版)

**宮崎県森林組合連合会**

平成23年6月

**(社)全国林業改良普及協会**

## 目 次

### I. 宮崎県森林組合連合会の概要

### II. 審査経過・写真

### III. 審査における判定事由書

## I. 宮崎県森林組合連合会の概要

1. 申請者名称 宮崎県森林組合連合会 代表理事会長 坂東 和生  
(所在地) 宮崎市橋通東1丁目11番1号

2. 認定事業体 宮崎県森林組合連合会 NFEA-W005  
本所及び林産物流通センター(8所：共販所)、加工場(1所)

拠 点	所在地
◎本 所	宮崎市橋通東1丁目11番1号
五ヶ瀬林産物流通センター	西臼杵郡五ヶ瀬町大字三ヶ所533
高千穂林産物流通センター	西臼杵郡高千穂町大字三田井1996-1
東郷林産物流通センター	日向市東郷町山陰字長迫1331-2
日向林産物流通センター	日向市大字財光寺1564-3
宮崎林産物流通センター	宮崎市大字広原字鳥之迫6104
小林林産物流通センター	小林市大字細野4982-47
都城林産物流通センター	都城市太郎坊町1065
日南林産物流通センター	日南市大字東弁分字舞台ヶ迫乙2402
東郷木材加工場	日向市東郷町山陰字長迫1321-1

3. 事業内容 素材販売事業、木材加工事業、森林整備事業、指導事業

(認定業種) 木材販売・流通、製材・木製品加工・販売

### 4. 沿革・概要

宮崎県森林組合連合会（以下宮崎県森連と称する）は、宮崎県内の8森林組合を会員として、森林組合法に基づいて設立された系統組織である。昭和16年12月23日の設立以来、協同組合精神に基づく、会員協同による事業の振興、それを通じた森林組合員の経済的・社会的地位の向上、森林資源の保続培養、森林生産力の増進を図ることを目的とした事業活動を展開している。

#### 【沿革・概要】

設 立 : 昭和16年12月23日

会 員 : 8組合：宮崎中央森林組合、南那珂森林組合、都城森林組合、  
西諸地区森林組合、児湯広域森林組合、延岡地区森林組合、  
耳川広域森林組合、西臼杵森林組合

出 資 金 : 4億8283万円（平成21年度）

総取扱高： 63億2千万円（平成21年度）  
 役員数： 10名（理事7名、監事3名）  
 従業員： 114名（職員31名・嘱託7名、常用人76名） 平成23年3月末  
 関連会社： (有)フォレスト宮崎、東九州プレカット事業協同組合、デクスウッド宮崎事業協同組合、サファリウッド協同組合、ランバー宮崎協同組合

## 【事業内容】

### （1）素材販売事業

現在、県内に8箇所の流通センター(原木共販所)を設置して原木の集荷販売を行っており、日本一のスギ生産地宮崎県におけるスギ原木の流通・販売の拠点として、販売流通量の約4割を担っている。

#### 《林産物流通センターの概要》8箇所

※取扱数量は平成22年度実績

拠点名	敷地(m <sup>2</sup> )	取扱数量(m <sup>3</sup> )	主な設備
五ヶ瀬林産物流通センター	9,700	高千穂に含む	
高千穂林産物流通センター	23,487	100,494.929	選別機1式(20ゲート)
東郷林産物流通センター	123,444	77,192.975	選別機2式(20ゲート)
日向林産物流通センター	43,343	32,118.964	
宮崎林産物流通センター	54,103	32,148.451	選別機1式(20ゲート)
小林林産物流通センター	11,723	23,988.083	選別機1式(20ゲート)
都城林産物流通センター	51,459	132,022.051	選別機2式(20ゲート)
日南林産物流通センター	29,114	38,873.345	選別機1式(20ゲート)
取扱数量合計		436,838.798	

### （2）木材加工事業

東郷木材加工場を中心として、需要ニーズに対応した製材品等（製材品、木工品、工作物、チップ、その他）の生産を行い、県内外に安定的に供給している。

#### 《東郷木材加工場の概要》

東郷木材加工場は、中目材に対応できる木材加工施設として、東郷林産物流通センターに隣接する土地約2haに整備されたものである。

平成9年4月から稼動を始めており、原木処理能力22,000m<sup>3</sup>/年(1日当たり約83m<sup>3</sup>)、製品製造能力13,500m<sup>3</sup>/年(1日当たり約51m<sup>3</sup>)で、乾燥施設、モルダー施設、樹皮粉碎設備も備えた大型加工施設である。

① 工場施設の概要

施設内訳	規模等		事業導入年度
作業用建物	1棟	2,040 m <sup>2</sup>	平成7～8年度
製品倉庫	1棟	962 m <sup>2</sup>	平成8年度
剥皮施設倉庫	1棟	201 m <sup>2</sup>	平成8年度
舗装	1式	7,447 m <sup>2</sup>	平成8年度
製材機械（※）	1式		平成7～8年度
乾燥施設	1基	40 m <sup>3</sup> × 1	平成9年度
フォークリフト	5台		平成9年度
チップパー機械設備	1式		平成8年度
剥皮機械設備	1式		平成8年度
モルダー	1式		平成17年度
樹皮粉碎設備	1式		平成18年度

② 製品の種類

2 m 板材 胴縁

3 m 母屋 柱 桁 間柱 垂木 板類 胴縁

4 m 母屋 柱 桁 間柱 垂木 板類 胴縁

特殊加工（モルダー） 本実 相ジャクリ （壁板 床板）

③ 製品の主な出荷先

関西圏：20% 九州圏：50% 県内：30%

④ JAS 認定工場（認定番号：JLIRA-B・65・19）

○認定の品目及び区分

品目：構造用製材 区分：構造用製材、人工乾燥構造用製材

（3）森林整備事業

- ・森林の公益的機能を発揮するため、自然生態系の保全に配慮した森林整備や病虫害防除事業等の実施
- ・森林組合が行う事業に必要な物資の供給
- ・森林国営保険

（4）指導事業

森林組合が地域に立脚した協同組合として機能するための組織基盤づくり、豊かな緑を守る人づくり。

## 5. 木材・木製品の年間取扱実績

○期間(直近5か年分) 平成18年4月1日～平成22年3月31日

### 【原木取扱実績(8センター共販)】

(取りまとめ期間：4月～3月 単位m<sup>3</sup>)

品目・年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
原木入荷量	395,231.120	417,409.019	421,652.931	384,109.152	436,838.798
(内SGEC認証材)	(2,188.176)	(725.179)	(172.739)	(166.545)	(557.922)
原木出荷量	395,231.120	417,409.019	421,652.931	384,109.152	436,838.798
(内SGEC認証材)	(0)	(0)	(0)	(0)	(111.542)

### 【製品加工実績(東郷加工場)】

(取りまとめ期間：4月～3月 単位m<sup>3</sup>)

品目・年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
原木入荷量	20,413	19,893	19,908	14,600	13,811
(内SGEC認証材)				(435.556)	(280.913)
製品出来高	12,980	12,228	12,251	9,138	9,292
(内SGEC認証材)				(127.4406)	(12.6677)

○東郷木材加工場の主な取引先(認証林産物)

入荷先 藤元木材株式会社(NFEA-033)、西臼杵森林認証協議会森林認証部会(NFEA-030)

出荷先 アイ・ホーム株式会社(NFEA-054)、小野木材(株)(NFEA-053)

## 6. 分別・表示管理体制の確立

宮崎県森林組合連合会の分別・表示システムは、8箇所の林産物流通センターでの素材受入・販売及び、東郷木材加工場での木材加工、製材品等の保管・販売までである。

SGEC 分別・表示事業体認定取得に当たって定めた「SGEC 認証林産物の分別・表示管理方針書」に基づき、「認証林産物」が、各拠点での受入・保管・加工・出荷等の各工程で適正に分別・表示管理が行えるよう、本部販売課長を「SGEC 認証林産物総括管理責任者」として、各拠点に「分別・表示管理責任者」及び担当者を配置し、拠点ごとの「分別・表示管理体制」を整えた「認証林産物の分別・表示管理計画」を作成して、認証林産物の分別・表示に当たっている。

各拠点における基本的な作業工程の分別・表示管理の概略は次のとおりである。

### 【林産物流通センター】8箇所

- ①素材の受入・保管：認証林産物と非認証林産物を明確に区分して置き、他の製品等と混在しないように認証林産物であることを表示する。
- ②出荷・販売：製品マークと伝票の正確な受け渡しと、購入先・数量・販売先・在庫等の認証林産物履歴のコード管理を徹底する。

## 【東郷木材加工場】

- ①素材の受入・保管：認証林産物と非認証林産物を明確に区分して置き、他の製品等と混在しないように認証林産物であることを表示する。
- ②製材・加工：認証林産物の製材加工・生産にあたっては、期間を定めて集中的に行うことを原則とする。
- ③製品の乾燥・保管：認証林産物の保管場所には、看板を立て、認証林産物は所定の色のバンド等で結束して保管する。
- ②出荷・販売：製品マークと伝票の正確な受け渡しと、購入先・数量・販売先・在庫等の認証林産物履歴のコード管理を徹底する。

なお、各拠点には、分別保管に十分な広さを持つ土場及び倉庫等を備えており、記録簿である専用の「認証材取扱台帳」及び「認証材出荷台帳」を作成し、各段階で認証林産物を量的に把握し、分別・表示管理の徹底できる管理体制を確立している。

### ○内部研修

毎年6月、本部販売課長（総括管理責任者）が各拠点の所長・工場長（管理責任者）に対して認証材の取扱いについて、指導・研修等を行っており、各拠点では、所長・工場長（管理責任者）が、上記指導・研修を基に、担当者及び作業班員に対して定期的に研修を実施している。

### ○内部検査

年に2回、本部販売課長（総括管理責任者）が各拠点の所長・工場長（管理責任者）に対して、認証材の有無、認証材取扱帳簿ないし台帳（写し）、認証材取扱実績等の確認を行っている。

**(主な確認資料)**

- ・ SGEC 認証林産物生産・出荷・管理計画
- ・ SGEC 認証林産物の分別・表示管理方針書
- ・ SGEC 認証林産物分別・表示管理体制図
- ・ 施設・加工場配置図
- ・ 品質管理等に関する内部規定
- ・ 決算報告書
- ・ 入荷先／森林認証書・認証材産地証明書・納品・請求書(入荷先)
- ・ 共販所／荷受伝票、出荷計算書、椋札、出庫伝票、請求書、出荷者実績表
- ・ 加工場／仕入先別仕入実績表、在庫表、SGEC 認証林産物 入・出荷・在庫管理表
- ・ 本所 /SGEC 認証材産地・出荷証明書、納品明細書
- ・ ユーザー別販売高
- ・ 平成 23 年定例市開催日(宮崎県森林組合連合会 8 所)

## II. 審査経過・確認資料一覧・写真

### ○宮崎県森林組合連合会の審査経過

本更新審査は、一般社団法人全国林業改良普及協会認証審査センターの児島裕、鳥越貞雄、の2名が下記のとおり行った。

#### 【審査申込】

平成23年4月28日／審査申込

(内 容)

1. SGEC 分別・表示システム、及び全林協の審査手順についての説明
2. 審査申込書及び審査資料の受付

#### 【認定審査】

平成23年5月17日～20日／書類確認及び現地確認

(場 所)

宮崎県森林組合連合会	本部
〃	東郷林産物流通センター
〃	東郷木材加工場
〃	宮崎林産物流通センター
〃	都城林産物流通センター

(審査員)

全国林業改良普及協会	認証審査センター
	審査員 児島裕
	専門審査員 鳥越貞雄

(事業体出席者)

宮崎県森林組合連合会	代表理事会長	坂東 和生
〃	参 事	上米良 真
〃	販売・共販課長	田之上裕明 ((総括管理責任者))
〃	販売課課長補佐	湯浅 康博
同	東郷林産物流通センター所長	苅部 元樹 (管理責任者)
同	東郷木材加工場 工場長	神塚 一茂 (管理責任者)
同	宮崎林産物流通センター所長	長谷川 仁 (管理責任者)
同	都城林産物流通センター所長	杉田 芳朗 (管理責任者)

(内 容)

1. 宮崎県森連本部において、事業の概要、現行の木材の流れ及び管理の仕組み等について、更に認証林産物の分別・表示管理システムの考え方や管理方針、認証林産物の生産・加工、出荷管理計画、分別・表示管理の体制等について説明を受け、併せて関連資料の審査を行った。

2. 林産物流通センターの素材共販所土場において、搬入・選別・入札・搬出の一連の工程における分別管理の状況を確認すると共に、SGEC 分別・表示システム及び、管理方針、分別・表示管理計画・体制等の遵守意志を各担当者に確認した。
3. 木材加工場において、認証材置き場、製材加工ライン及び、製品の分別状況を確認すると共に、SGEC 分別・表示システム及び、管理方針、分別・表示管理計画・体制等の遵守意志を各担当者に確認した。

### 【審査判定】

6月1日／審査委員会

#### (委員名)

元東京大学教授・農学博士	山根 明臣
元東京農業大学教授・農学博士	河原 輝彦
木構造振興株式会社代表取締役・農学博士	西村 勝美
東京農工大学教授・農学博士	土屋 俊幸
(社)日本育種協会 理事	真柴 孝司

#### (事務局)

一般社団法人全国林業改良普及協会専務理事	渡辺 政一
同 認証審査センター	児島 裕
同 認証審査センター	野田 昭一

#### (内 容)

1. 現地確認審査の結果及び申請者からの提出資料、SGEC の定める「認定審査」基準事項に基づき設定した「審査内容」を各委員に提示した。
2. 審査委員から、申請者は別紙判定事由書の通り認定に値する事業体であるものと認められた。

### Ⅲ. 審査における判定事由書（概要）

#### 【判定結果】

SGEC の定める「認定審査」基準事項に基づき、「宮崎県森林組合連合会審査判定表（分別・表示）」の 15 項目を審査要件として決定した。

これら「審査要件」に基づいて、「認定審査」を行い、審査委員会に諮ったところ、宮崎県森林組合連合会は、認定に値する事業体であるとして判定された。

なお、審査委員会により、認定取得後の「向上目標」として下記が付記された。

#### 【向上目標】

1. 認証林産物の出荷に際しては、原木については、出庫単位ごとに「認証マークスタンプ」を捺した「出庫伝票」等を添付し、製品については、刷り版等によって梱包ごとの認証マーク表示を実行すること。（基準 3－4）
2. 認証林産物の荷受伝票や出庫伝票、納品書や請求書には、様式を統一した認証マークスタンプを押印して、得意先への認証林産物の証明と普及に役立てること。（基準 4－1）